

令和7年度 進路指導専門委員会研修会

実施期日：令和7年11月10日（月）
会 場：埼玉会館 小ホール

主 催：埼玉県高等学校PTA連合会
後 援：埼玉県教育委員会

目 次

次第	・・・・・・・・ 2 ページ
----	----------------

発表校資料

(1) 埼玉県立鷺宮高等学校 P T A	・・・・・・・・ 3 ページ
(2) 埼玉県立所沢高等学校 P T A	・・・・・・・・ 7 ページ
(3) さいたま市立大宮北高等学校 P T A	・・・・・・・・ 11 ページ
(4) 埼玉県立進修館高等学校 P T A	・・・・・・・・ 15 ページ

令和7年度埼玉県高等学校PTA連合会 進路指導専門委員会研修会 次 第

日時 令和7年11月10日（月）

場所 埼玉会館 小ホール

受付 9:30～10:00

【司会・進行】 埼玉県立熊谷農業高等学校PTA会長 山口 よしみ

1 開会のことば（10:00）

埼玉県立豊岡高等学校PTA会長 山田 冬湖

2 開会行事（10:00～10:10）

（1）委員長あいさつ さいたま市立大宮北高等学校PTA会長 菅野 千香子

（2）講評者紹介 （司 会）

（3）発表者・校長の紹介 （司 会）

3 研究協議（10:10～11:30）

（1）実践発表 （各校20分）

東部支部 埼玉県立鷺宮高等学校PTA会長 齋藤 幾世
同副会長 池山 かおる
【鷺宮高校におけるPTA活動と進路指導】

西部支部 埼玉県立所沢高等学校PTA会長 榎並 和良
【所沢高校PTAの取り組み】

南部支部 さいたま市立大宮北高等学校 教頭 新川 健二
【大宮北高校におけるPTA活動と進路指導】

北部支部 埼玉県立進修館高等学校PTA会長 石川 篤信
【進路指導とPTA】

（2）質疑応答

（3）講 評 （11:40）

埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課 指導主事 大場 拓八 様

4 連絡 埼玉県高等学校PTA連合会より 事務局 川田 清隆

5 閉会のことば（12:00）

埼玉県立豊岡高等学校PTA会長 山田 冬湖

～鷺宮高校におけるPTA活動と進路指導～

埼玉県立鷺宮高等学校PTA会長 齋藤 幾世

1 本校の概要

本校は、昭和53年4月に全日制普通科の県立高等学校として旧鷺宮町に開校し、本年度で創立48年目を迎えている。創立当初より「わしみやこうこう」と呼ばれてきたが、久喜市・鷺宮町・栗橋町・菖蒲町が平成23年3月に合併した際に地名の読みが「わしのみや」へ統一され、同年4月から、校名の読みも「わしのみやこうこう」へと変更された。本年度で創立48年目を迎え、これまでに計1万3千人を超える



卒業生を輩出し、地域社会の様々な分野で活躍している。久喜市内には5校の県立高等学校があり、本校もその一つとして、地域の期待に応えるため、ボランティア活動や地域イベントへの参加を通じて、地域貢献にも力を入れている。特に文化部では吹奏楽部の地域施設やイベントでの演奏、書道部によるイベントでのパフォーマンス、美術部の市イベントのポスター制作、JRC部と華道部による市のコスモス一斉種まきボランティア、調理部の市議会だより表紙作品の製作など、地域イベントでの発表や作品提供を通じて、日頃の活動成果を発信している。

本校の特色は、地域に密着した全日制普通科であることと、部活動と学校行事が盛んなことである。普通科であるにも関わらず、多彩な科目の選択や複数の資格取得が可能な教育課程が整備されており、2年次から分かれる文系・理系選択をはじめ、生徒の興味関心や進路希望に応じた学びが可能である。昨年度より、毎日の朝学習を取り入れ、曜日によって読書や文章の要約練習、タブレットを用いた学習など、1時間目の前に効果的な15分間の学習を行っている。



生徒は久喜市を中心に、加須市、幸手市など近隣からの自転車通学が約40%、それ以外の約60%が電車通学で、穏やかで礼儀正しい生徒が多い。さいたま市や越谷市をはじめ、自宅から1時間以上掛けて通う生徒も各学年に複数おり、その多くが部活動を高校選択の大きな目的としている。また、学校の敷地が広く、テニスコート5面、野球場、屋内野球練習場、ソフトボール専用グラウンドを備えている。

部活動では、平成7年春に甲子園出場経験のある野球部をはじめ、16の運動部と12の文化部があり、どの部も活発な活動をしている。特に近年では、卓球部、ソフトテニス部、陸上競技部が関東大会への出場、ソフトボール部が関東国公立大会への出場を果たしている。

さらに地元では学校行事が盛んな高校として知られている。文化祭は一般公開終了後、在校生だけのフィナーレ、後夜祭と続き、最後は校庭での花火で幕を閉じる。1学年では、スキー集団宿泊研修を行っており、コロナ禍以降も学年全体でスキーを継続実施している唯一の県立高等学校かと思われる。



2 本校のPTA組織と各専門部の活動

本校のPTA組織は、全校生徒800名強、ほぼすべての保護者と、教職員を加え、約850名が所属している。本部役員は会長、副会長、校長、監事の計18名で構成され、この他に理事が69名、事務局として教職員4名で構成している。入会に際しては、3月の入学許可候補者説明会の際に新入生の保護者へ向けて、PTA活動について周知している。入学後は出身中学校（在住）の地区毎に5支部へ割り振り、それぞれの支部から本部役員を入学時に選出している。

また、本部の他、専門部を4つ（生徒指導部、広報部、教養文化部、研修部）設けている。この専門部については、表のように支部によって割り当てているため、年度毎の役割変更や分担時の希望調査を行う手間などは一切ない。

特に、生徒指導部は学期1回、生徒の登校時間における登校指導サポートを行うことから、学校から最も距離が近い鷺宮支部が担っており、PTA活動による学校までの距離的負担感軽減へつながっている。広報部は、PTAだよりを学期1回発行しており、生徒の様子を写真に収めるため学校行事毎に取材で参加をしている。他の専門部より仕事量が多くなるため、2つの支部を割り当て、人数を多く配置することで役員一人ひとりの負担感を減らしている。

各専門部の取組内容や活動回数は次のとおりである。

支部名	専門部
鷺宮	生徒指導部
加須	広報部
加須東・羽生	教養文化部
久喜	広報部
春日部	研修部



- | | |
|-------|----------------------------------|
| 生徒指導部 | ： 特別登校指導（朝の登校指導）協力 学期1回 |
| 広報部 | ： PTAだより発行 学期1回発行（取材・編集作業 学期2回程） |
| 教養文化部 | ： 文化祭協賛事業（バザー）の開催 文化祭一般公開日 |
| 研修部 | ： 進路座談会（2月に3年生保護者を囲んで保護者用進路イベント） |

かつては、日帰り研修旅行、各種懇談会やレクレーション大会など、多くのPTA関係行事があったが、コロナ禍以降は時代の変化に合わせ、負担感を減らした活動を工夫している。

本校のPTA役員会・理事会については年5回、土曜日に開催している。このうち、5月はPTA総会と3年生進路保護者会の同日開催、2月は後述する進路座談会の同日開催としている。さらに、今年度は8月にハイブリッド開催を初めて試みたところである。このハイブリッド開催については、現地参加者が30名強、オンライン参加者が10名程であった。文化祭直前の役員会・理事会であったこともあり、教養文化部に所属する理事は、文化祭協賛事業（バザー）の準備のために現地参加者が多かった。今後も役員会・理事会について、集合で行うべき日と、ハイブリッド開催で差し支えない日を見極め、学校から遠方に住んでいる保護者の負担軽減を図っていく。



PTA総会



役員会・理事会（ハイブリッド開催）



文化祭協賛事業（バザー）

3 本校の進路指導とP T A活動 ～保護者のための進路座談会～

(1) 生徒の進路実現状況

令和6年度卒業生の進路は、四年制大学41.1%、短期大学4.3%、専門学校39.1%、就職・公務員13.9%であった。例年、本校生徒は多様な進路希望があり、三年間を掛けて、計画的な進路指導の下、それぞれの進路実現を果たしている。なお、四年制大学の場合、総合型選抜や学校推薦型選抜（指定校など）といった年内に行われる入試で進学する生徒がほとんどである。

(2) 保護者向け進路情報の提供状況

毎年6月初旬に行われる保護者面談（三者面談）では、主として進路関係の面談を行う。これに加え、1年生12月にスキー集団宿泊研修の保護者説明会と同日に1年進路保護者会、2年生9月に修学旅行の保護者説明会と同日に2年進路保護者会、3年生5月にP T A総会と同日に3年進路保護者会をそれぞれ実施している。

各学年における進路保護者会は、主に進路指導主事の先生から、その学年に応じた進路関係の講話と資料提供がなされる。



(3) 保護者のための進路座談会

前述の通り、保護者のための進路行事は毎年段階的に行われているものの、保護者が受け身で聞く行事のみであった。P T A活動として、進路指導に関する取り組みが何かできないかを模索した結果、令和5年度にこの「保護者のための進路座談会」という企画を実施することができた。実施時期を2月の役員会・理事会と同日に設定し、対象を1，2年生保護者とした。保護者同士が意見交換し、主体的に参加できる形式を考え、進路が決まった3年生保護者を囲んで、1，2年生保護者がQ & A方式で進路に関する疑問を質問する座談会形式での実施を試みた。この発表側となるアドバイザー（3年保護者）にはP T A理事を充て、1，2年生保護者には通知を出して全校から参加希望者を募った。



初めて実施した令和5年度は45名、続く令和6年度は40名の参加があり、どの保護者も「参加してよかった」と良い感想ばかりであった。特に長男・長女が本校に在籍する保護者は、進路実現へ向けた見通しが想像し難く、座談会形式で気軽に先輩保護者へ質問できたことで不安の解消へ繋がった様子であった。

この進路座談会では、参加申込時に「四年制大学理系」「四年制大学文系」「専門学校」「就職」「公務員」「医療看護」の6分野の希望を聞き、当日は分野毎に3～7名程のグループを作り、机を向かい合わせて話をしやすい雰囲気で行った。令和5年度、令和6年度ともに、すべての分野から参加希望があり、分野毎に保護者同士でしか聞けないことを遠慮なく質問している様子であった。

また、参加申込時に1，2年生保護者から質問を集め、よくある質問と合わせ、アドバイザー（3年保護者）へあらかじめ回答を考えておくよう連絡した。具体的には、次に挙げる質問を投げかけた。さらに、事前に各グループで1，2年生保護者の中から司会を配置したことで、座談会がスムーズに進むようにした。

【アドバイザー（３年保護者）へ事前に提示した質問内容】

- ・いつ頃、進路を決定したか。
- ・いつ頃から具体的に動き出したか。
- ・オープンキャンパスや説明会にいつ行ったか。
- ・進路希望候補を何校（何社）挙げて考えたか。
- ・お金はいつ頃に必要となるか。
- ・１，２年生のうちにやっておいた方がよいことは何か。
- ・子どもの進路活動中、保護者として心掛けたことは何か。



アドバイザー（３年保護者）からは実体験に基づくリアルな話があり、実施した４５分間、どの分野のグループも会話が弾み、座談会が早く終わってしまうグループはなかった。進路実現に至るまでの子どもの感情の浮き沈みや、お金のことなど、保護者ならではの経験談から、１，２年生保護者は普段の進路保護者会と異なる学びを得た様子であった。



また、分野毎にグループを作ったことで、「〇〇大学はこういった研究ができる専用の設備と先生がいる」「□□□専門学校は卒業後の就職先がいい」「△△△社は離職率が低い」など、保護者同士で通じ合う話題も多く見受けられた。進学の場合は、特にお金の話として、試験料、入学金、授業料の実際に掛かった金額を話題に挙げていた。保護者としては、普段、学校の先生からはなかなか聞くことができない貴重な情報があり、進路について保護者自身が学ぶ貴重な時間となった。



令和５年度から企画して、今年度で３回目を迎えるこの進路座談会は、多様な進路を描く本校生徒の保護者にとって有意義なＰＴＡ活動となりつつある。今後、この良さを多くの保護者へ伝え、参加者のさらなる増加を目指していきたい。アドバイザー（３年保護者）としては、高校３年間のＰＴＡ活動の締めくくりとして、２月にこのような活動があることが大変有意義であると感じている。頑張った我が子のことを後輩となる保護者へ、良いことも悪いことも、胸を張って伝えられるこのような機会はなかなかないことである。

４ おわりに

コロナ禍以降、どこの高等学校でもＰＴＡ活動の規模縮小や負担軽減への対応がなされてきていると思われる。ＰＴＡ活動や学校行事の削減や精選が叫ばれる中、新しい取り組みを始めることは、なかなか難しい場面も多いが、進路座談会のように負担感なく始められる活動もあることがわかった。

生徒の学校生活の充実はもちろんのこと、ＰＴＡ活動を通して、保護者の充実感や満足感も得られる組織であるためにはどのような形がよいのか、他校の先進的取組を参考にしながら、より良いＰＴＡ活動を考えていきたい。



所沢高等学校 PTA の取り組み

埼玉県立所沢高等学校

PTA 会長 榎並和良

1) 沿革

所沢高等学校は 1898 年に共立英和学舎として開校し、1953 年に埼玉県移管に伴い男女共学の埼玉県立所沢高等学校となり、地域の中心的な進学校として発展してきました。2025 年には創立 127 周年を迎えましたが、校訓や校風には「自由と自治」が根付いており、生徒一人ひとりの自主性を重んじる教育が脈々と受け継がれています。

2) 特色

「自主自立」「十人十色」がモットーで、生徒が自ら考え、行動することを重視しています。

所高が誇る 5 つの特色

1 質の高い学び

土曜授業や学力向上プロジェクトチームによるサポート等は、あなたの知的好奇心を刺激します。一方的な知識の伝達ではなく、深く考え、議論し、自ら答えを見つけ出す喜びを体験してください。



2 地域との繋がり

教室を飛び出し、地域社会と連携する「KIZUNA活動」は、机上では得られない貴重な学びの機会です。イベントへの参加やボランティア活動を通して、社会の一員としての責任感や連帯感を育みます。



3 グローバルな視点

海外ホームステイやオンライン交流プログラムは、世界を身近に感じさせ、グローバルな視点を養います。異文化に触れ、コミュニケーションを図る経験は、多様な価値観を理解し、尊重する心を育みます。



4 チームで創る生徒会活動

生徒会行事は、物事を円滑に進めるための実践的な学びの場です。計画、実行、そして反省のプロセスを通して、コミュニケーション能力、問題解決能力を磨きます。



5 真のリーダーシップ

多様性の時代において、チームをまとめ、目標を達成するためには、「正論」だけでは不十分です。一人ひとりの意見に耳を傾け、納得感を大切にしながら信頼関係を築き上げることこそ、これからのリーダーシップのあり方です。



さあ、未来への扉を開こう

本校で過ごす高校生活は、あなたにとってかけがえのない財産となるでしょう。「自由とは何か？」という答を探しながら、個性豊かな仲間と出会い、切磋琢磨し、共に成長していく。その経験は、あなたをたくましく成長させ、未来を切り拓くための確かな力を与えてくれるでしょう。

2026 年度学校案内より



2025 年度体育祭の風景

3) 進路状況

大学進学が中心で国公立大学、難関私立大学（早慶上理、GMARCH 等）への進学実績が多数あり、理系・文系ともに幅広い分野で進学しています。「自分は何を求めて大学へ進学するのか」を明確にして志望校を決定できるよう、進路ガイダンスや面談を通して、的確なアドバイスを行っています。また、早朝や放課後、夏休みなどを利用して、希望者を対象としたさまざまな補習を行っています。

4) PTA 活動

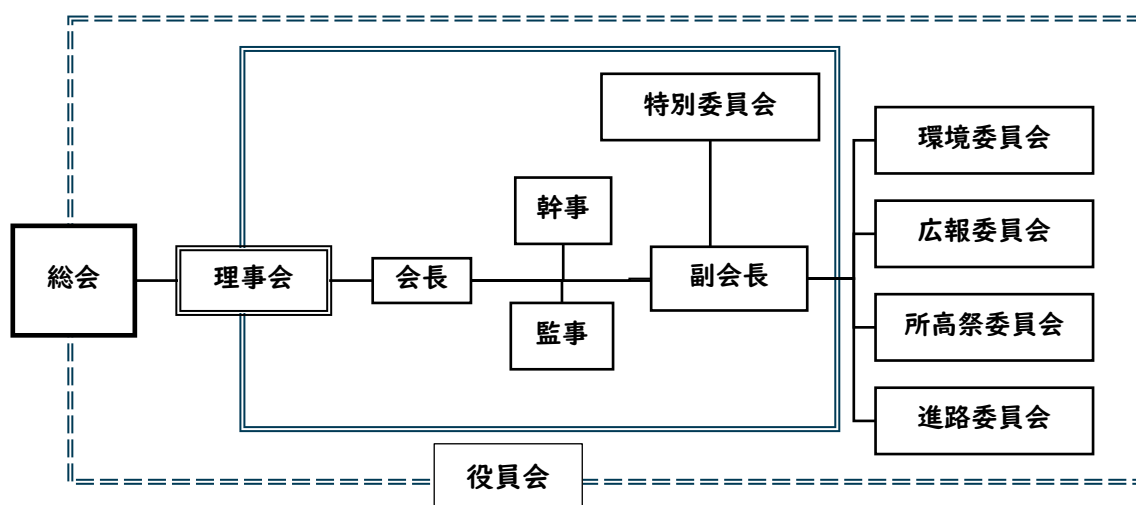
所沢高校 PTA は「学校・家庭・地域をつなぐ架け橋」として、多彩なで活発な活動を展開しています。令和 6 年度に PTA 組織と役員選出方法を見直し、今年度からは下記のような組織体制の元、役員は希望者から選出する方法にしました。具体的には、入学許可候補者説明会後にやってもいいという方々、くじを引いてもいいという方々にお残りいただいて、その中で決めさせていただきました。生徒の活動と同様に PTA の活動も「自主自立」を目指し、所沢高校の教育活動がさらに充実していくように活動しています。

理事会：理事である会長・副会長で構成。企画・運営、会計、書記、監査を担当（計 12 名）

役員会：理事と各委員で構成（計 66 名）

- ・環境委員会：花壇の花植え、水やりなどの活動を担当（14 名）
- ・広報委員会：年 2 回発行の PTA 広報誌の制作を担当（16 名）
- ・所高祭委員会：所高祭（文化祭）の PTA ブースの企画・運営を担当（24 名）
- ・進路委員会：保護者対象の進路行事の企画・運営を担当（今年度は活動停止中）

所沢高校 PTA 組織図



5) PTA による進路活動

令和 6 年度『保護者対象 進路講演会 2024』(進路委員会主催)

◆日時 令和 6 年 6 月 15 日 (土) 受付 13:00～ 講演会 13:30～15:30

◆タイムスケジュール・会場

	視聴覚室 (約 100 人)	会議室 (約 60 人)	2 号館 2 階(3-456))	2 号館 2 階(3-789)
13:30	「大学受験の最新情報」 山内太地氏のご講演	「大学受験の最新情報」 (オンライン視聴)	「大学受験の最新情報」 (オンライン視聴)	「大学受験の最新情報」 オンライン視聴 (生徒)
14:30	移動			
14:45	「所沢高校の進路状況と 進路指導」 保泉典明先生のご講演	「マネープラン講座」 小山信康氏のご講演	オンライン視聴会場 (視聴覚室・会議室が満員になった場合)	
15:30	終了			

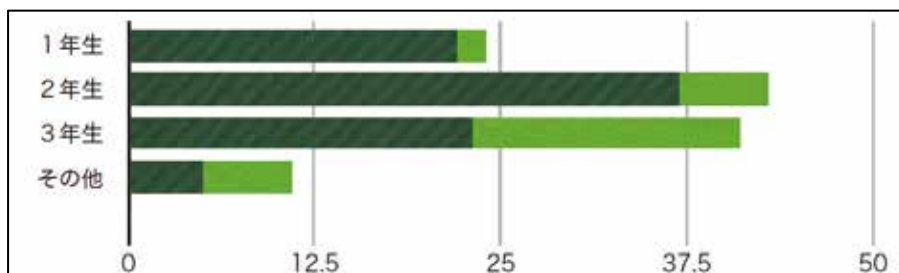
※講演会場が定員になりましたら会議室または教室にてオンラインでご視聴いただきます。

講演会場への入場は先着順となりますのでご了承ください。

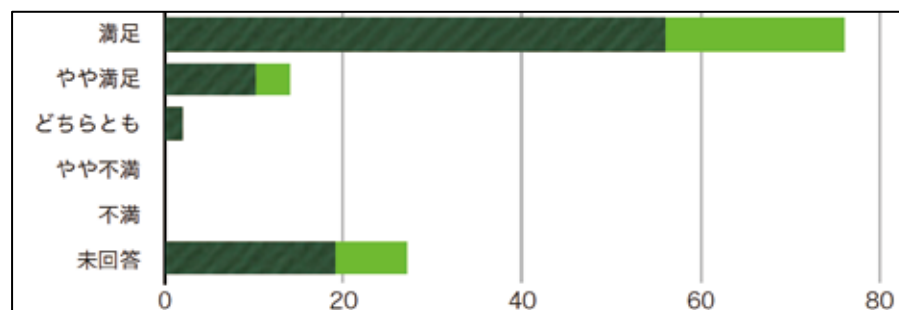


アンケート結果

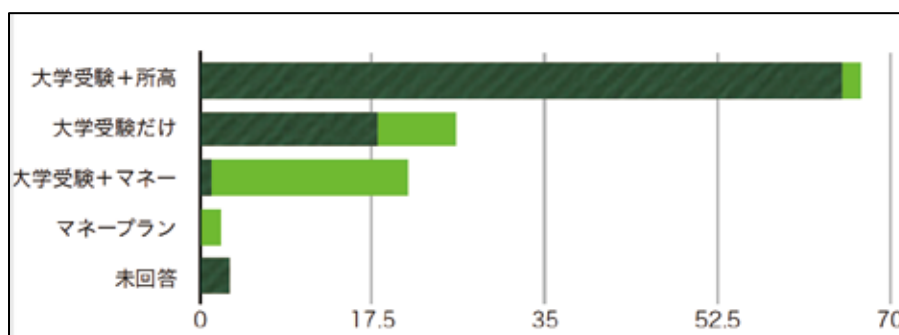
Q1 お子様の学年



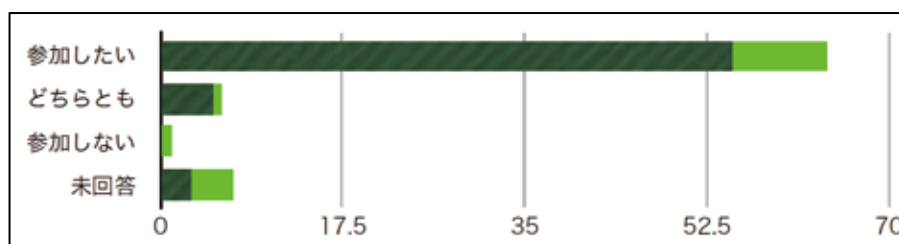
Q2 講演会の満足度



Q3 参加した講演



Q4 来年度も参加したいか (1・2学年の保護者のみ)



令和7年度「PTA 進路講演会2025」(今年度は進路委員会が活動を停止しているため理事会が主催)

日時：令和7年6月14日(土) 13時30分～15時30分

(午前10時50分～12時40分は保護者等へ授業を一般公開しております)

会場：本校会議室(人数が多い場合は3学年の教室も使用します)

対象：全学年保護者(希望者)

内容：第1部

「進学に向けてのマネープラン」(大学等の学費、奨学金制度、教育ローンなど)

講師：根岸紀子氏、森陽一郎氏(ファイナンシャルプランナー・ソニー生命)

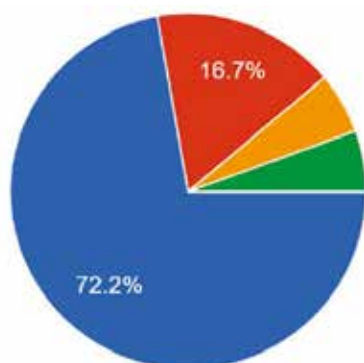
第2部

「所沢高校の進路状況と進路指導」(4月に実施した3学年保護者会と同じ内容)

講師：鈴木まゆみ教諭(所沢高校進路学習指導部主任)

アンケート結果

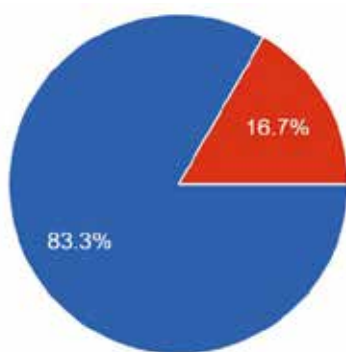
1 本日の満足度はいかがでしたか？



満足度 72%

- ・大学入試を詳しく説明してくださり、理解を深められたから。
- ・進路について参考になった
- ・資金をしっかりと準備する必要性がよく伝わってきました。
- ・所高生の進路の実態を知ることができたから
- ・入試の方法が多岐に渡るので、それぞれの出願時期等細かいことが知れたので良かったです。

2 来年度も進路講演会があったら参加したいと思いますか？



参加したい 83.3%

3 講演会で取り上げてほしいテーマをご記入ください

- *勉強の仕方
- *保護者としての進路学習指導のサポート
- *大学・学部選び方
- *志望校の決め方
- *文理選択について
- *学部の選択方法
- *ディスカバの出張授業
- *大学の特徴

～大宮北高校におけるPTA活動と進路指導～

さいたま市立大宮北高等学校 教頭 新川 健二

1 本校の概要

本校は、昭和31年4月に全日制普通科の埼玉県大宮市立高等学校として開校し、昭和33年7月に埼玉県大宮北高等学校、平成6年4月に大宮市立大宮北高等学、平成13年5月にさいたま市立大宮北高等学校と改称を重ねてきた。

平成26年4月には理数科（1学級）が設置され、さいたま市の理数教育拠点校と指定された。平成28年度にはSSH校に指定され、大きく変容しながら、本年度で創立70年目を迎えている。



理数科設置とともに全教室に高照度電子黒板機能付きのプロジェクタを設置するなど、多くの施設整備が進み、ICT教育先進校として評価されてきた。平成29年度に生徒一人一台にタブレットを持たせた先進的な授業改革に取り組み、コロナの際にもいち早くオンライン授業に切り替えるなど授業の遅れを出すことなく教育活動が行われた数少ない学校である。

令和4年度からは新学習指導要領の導入に合わせ文理融合型の教育課程に刷新し、学力検査に英数の難易度の高い選択問題を導入、制服はユニクロの既製品を採用

するなど、革新的な取り組みを実施してきた。令和4年度に第二期SSHに指定されたことで「STEAMS Time」と呼ばれる探究型の授業の研究が進み、令和5年度には科学技術人材育成重点校の指定も受け、様々な海外連携事業も充実させることができた。「グローバルサイエンスリーダー」と称す将来の国際社会におけるリーダー育成をめざして教育活動を実践している。

入試倍率も理数科・普通科ともに高倍率を維持し、昨年度理数科は県内トップの倍率となった。卒業生の進路においては90%以上の現役合格率を維持し、この3月の卒業生は国公立大学に54名が合格し、早慶上理、GMARCHにも2年連続100名以上の合格者を輩出した。

3年連続で国公立大学医学部医学科への進学者を出すなどこの11年で進学実績を飛躍的に伸ばしている。

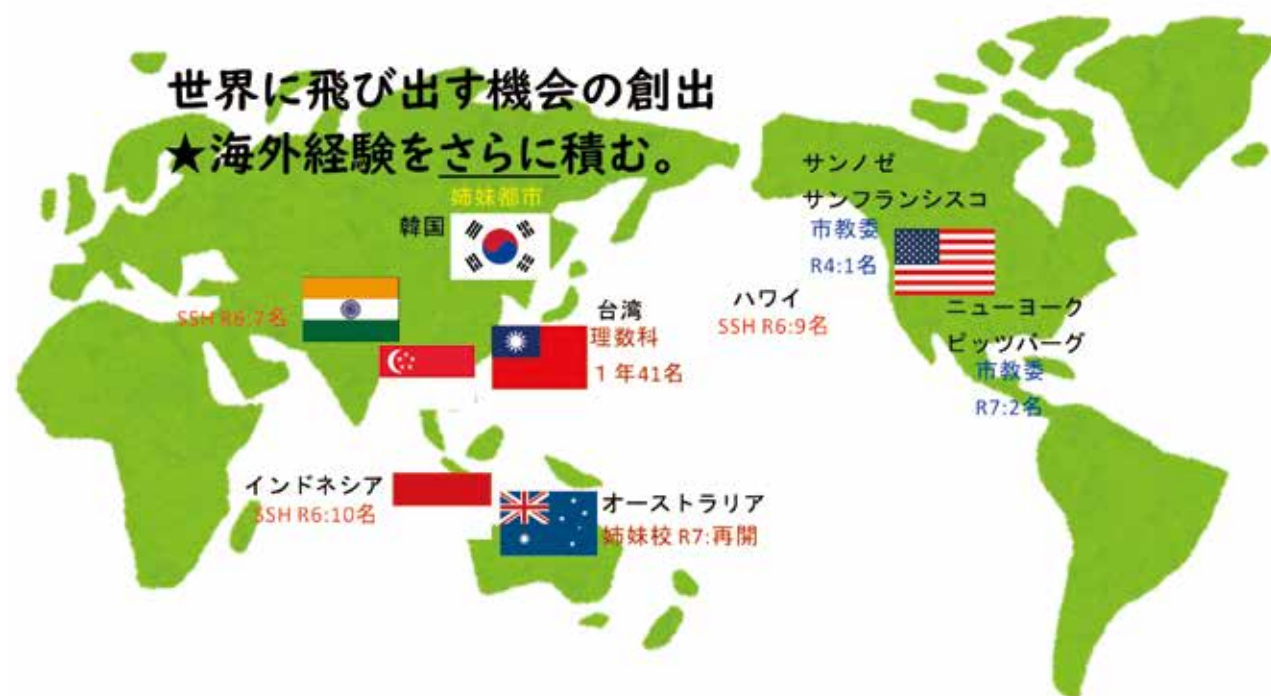


2 本校の課題

学校選択問題導入から4年間、普通科の倍率は当初2年間低迷したが、この2年間は高倍率となった。合格者の学習点、学力検査の得点年々上昇している。毎年教務部を中心に本校の魅力をアピールした生徒募集活動を実施してきた効果である。

生徒個々への丁寧な指導、S Cの活用、職員の情報共有、学校全体での指導等が課題となる。校内の様々なFW参加希望者は多く、毎回抽選となる状況である。市教委等校外のプログラムへの参加希望者も増えてきている。多くのことにチャレンジする姿勢が根付いてきた。

S S Hの取組を推進し、小中高の連携を意識したSTEAMS Timeにおける課題研究を行うなど、さいたま市における理数教育拠点校の役割を果たしている。また、「よい授業、探究力と演習量、生徒のやる気向上」の実践を行い、大学進学実績を向上させてきた。さらに、海外生徒との共同研究やユネスコスクールの登録、福島県企業・行政との連携したP B Lなどを通して、世界が抱える諸課題を解決していくグローバルサイエンスリーダーを育てようと計画をしている。



多くの教育活動を支える教職員は正教諭48名、臨任8名、再任用10名の構成、近年の異動や若手の臨任採用により平均年齢が44.2歳とこの10年で10歳以上も下がってきた。しかし、50代、60代の教員は24名と以前多い状況である。高年齢層においてもICTの活用や、様々な学校の改革に向けて前向きな教職員が多く、業務は協力的に進められている。

理数科設置以来の改革に関わってきたメンバーの異動や退職により、教職員の中に新たなリーダーが必要となってきた。日常的な行事や教育課程、授業改善や評価、新入試を担当する教務部、実績のさらなる向上をめざし、学校としての取り組みの整備が求められる進路指導部、多様化する生徒と向き合っていく生徒指導部、先進的に取り組んで来たからこそさらなる整備を求められるメディア管理部、本校生徒に人気のある伝統的な行事運営に関わる生徒会指導部、そして現状の探究学習やFWを充実させながらさらに来年度予定されるS S H第三期申請の準備を進めるS S H推進部、6分掌それぞれに多くの業務を抱え負担感・疲弊感も大きい。

「誰が・誰と・どのようにして」と新たな業務が山積する中、現状を担当してきた教員団は本校での在勤年数が長くなり、異動も視野に入れながら担当をしていくことになる。平成31年度より8分掌を6分掌とし、1クラスには担任・副担任が配置されるように組織編成を改善した。多岐にわたる複数の業務の効率よい分担が求められる中、一部の熱心な教職員に業務が偏ることのないよう、働き方改革も大切にし、職員の協力体制を築き、効率的・効果的な校務運営を進めていくことが大切となる。30代の主任も増やし、令和9年度以降のリーダーの育成を図っていかなくてはならない。



ユニクロ制服導入も4年目を迎え、生徒のプロジェクトで作ったネクタイ・リボンも好評である。時代の流れに即した変化に対応できる学校の姿勢を伸ばしていきたい。

本校の教育活動の柱は「生徒の進路希望を実現させる」ことであり、さらに卒業後の進路先で自信をもって前に進んでいける力を身につけさせることであると考えている。様々な教育活動の中で、生徒に主体性や協働性を求めた取り組みを進め

ているが、18歳で成年年齢をむかえることに対する意識を育てることとともに、自己肯定感を高めていくことがまだまだ不足していると感じている。幼少期から「与えられること」に慣れてしまっている生徒が、自らの力で考えようとする姿勢を身につけさせることは容易なことではない。

教職員も、まずは「生徒自身で考える機会を与えること」を意識した指導・支援が常にできているのかというと、つつい指導し過ぎとなってしまうことがある。高校3年間の中で卒業後の将来を自らの力で考え、自ら行動できる人材を育てていくために、生徒はもちろん保護者や教職員がどのような力が社会で求められるのかを共通認識し、意識して取り組んでいくことが必要であると感じる。



3 保護者との入試情報の共有

新学習指導要領導入により令和7年度大学入試がどのように変化していくのか、文部科学省の中央教育審議会等で様々な議論が進められ、平成の終わりごろから教員集団も様々な情報が流れ、なかなか正確な部分を把握しきれない状況が続いていた。該当受験生の保護者も自分はもちろん、兄や姉の大学受験とも様変わりをする状況に不安は大きかった。

本校PTA事業部の進路対策部がその解決をめざし「進学勉強会」を計画した。それまでの進路対策部の事業はおもに大学見学会のようなものであったが、一新し保護者が大学入試制度に対して理解を深める機会を準備したのである。

10月12日から12月27日まで視聴可能な限定動画「進学勉強会」を作成し、完全オンラインで開催した。動画は二部構成になっており、第一部「大学入試制度と最新入試動向」を河合塾大宮校の担当者から、第二部「大宮北高校の進路指導体制」を本校進路指導部の担当が話す形のものであった。オ

ンラインでの開催の為、親子で視聴することが出来き、見返すことも可能であるので大変好評なものとなり、再生回数は1058回と第3学年在籍生徒数の3倍を超えるものであった。その準備状況を振り返ると担当の方々の苦労がわかる。

4月第1回部会 「進学勉強会」について検討

6月第2回部会 「進学勉強会」の開催日・開催方式・テーマ決め

LINE を使用し案内文書（北高メール） 案検討

担当教職員へ文書案をメール送信

7月 北高メールにて進学勉強会の案内を全保護者へ送信

北高メールにて保護者からの質問事項アンケートを締め切り

9月 登壇者の河合塾と北高の進路指導部の職員と勉強会概要ミーティング

9月第3回部会 北高の図書室にて講演動画（教職員分）を撮影

役割分担決め

10月 河合塾の講演動画を受領

YouTube にて動画配信開始（全保護者に北高メールにて URL 等情報公開）

視聴アンケートの受領締め切り

12月 講演動画配信停止

学年進路目標

高校主としての学習習慣を身につけ、基礎学力を強化する。
「今」を充実させるとともに、将来に向けて何をなすべきを考える。

1 学年1学期

学期	月	学習目標	学校行事	試験・検定 ※実施は希望者	進路活動	進路(個性・高次元)
1	4	自己理解・目標設定・進路意識の確立	入学式	スタディーサポート	進路希望調査① キャリア教育①	二重調査① (照合合わせ)
	5	自己理解・目標設定・進路意識の確立		1学期中間考査	進路のしおり読み合わせ	
	6	自己理解・目標設定・進路意識の確立	体育祭	異校交流① 進路希望調査②	進路希望調査② (学年状況・中間考査・科目調査)	二重調査② (照合合わせ)
	7	自己理解・目標設定・進路意識の確立	卒業式	1学期進路希望調査 ～3学期進路希望調査～7月		

学年進路目標

①進路目標の実現を要する ②卒業後に向けて自己実現をはかる ③進路先での活躍に向けて準備する

3 学年1 学期

学期	月	学習目標	学校行事	試験・検定	進路活動	進路(個性・高次元)
3	4	自己理解・目標設定・進路意識の確立	卒業式	模擬テスト 進路希望調査③ 進路希望調査④	進路希望調査③ 進路希望調査④	二重調査③ (照合合わせ)
	5	自己理解・目標設定・進路意識の確立		中間考査 進路希望調査⑤ 進路希望調査⑥		
	6	自己理解・目標設定・進路意識の確立	体育祭		進路希望調査⑦ 進路希望調査⑧	二重調査④ (照合合わせ)
	7	自己理解・目標設定・進路意識の確立	卒業式	進路希望調査⑨ 進路希望調査⑩ 進路希望調査⑪ 進路希望調査⑫	進路希望調査⑨ 進路希望調査⑩ 進路希望調査⑪ 進路希望調査⑫	二重調査⑤ (照合合わせ)

4 本校のPTA組織

本校のPTA組織は、毎年新入生から56名の役員を希望者＋くじ引きで選出し、総勢168名で運営してきた。本部や理事に選出された方々はそれぞれの分担で熱心に取り組んでいただいているが、各家庭の状況や住居も様々であり業務分担や日程調整等は難しく、一部の方々の負担が増加してしまっていた。

令和7年度入学生よりくじ引きによる役員選出を廃止、希望選出の9名が役員となった。合わせて事業部の活動を今年度いっぱい閉じ、PTA、後援会、期成会という3つの保護者団体の一本化を進めることになった。

両親で仕事も抱え、近隣の生徒ばかりではない高等学校の保護者の現状に合う形へと好ましく変化していくことになった方針に賛同の声は大きかった。前述の進路対策部が実施した「勉強会」は進路指導部が引継ぎ学校として保護者への説明責任を果たす形に変化してきている。

学校側が保護者の声にしっかりと耳を傾けながら教育活動を展開し、連絡を密にすることで様々な問題は解決していくと思われる。今後も新たな方向性を探りたいと考えている。

「進路指導とPTA」

埼玉県立進修館高等学校

PTA 会長 石川 篤信

1 はじめに～学校の概要～

埼玉県立進修館高等学校は、埼玉県の北部にある行田市に位置します。行田市は県名の発祥の地「埼玉（さきたま）」で知られ、埼玉古墳群の稲荷山から出土された国宝金錯銘鉄剣（こくほうきんさくめいてっけん）など歴史上の文化遺産が数多くあります。また、行田市は、忍藩の城下町として知られ、映画「のぼうの城」の舞台となりました。その他にも約二千年の眠りから目覚めた古代蓮、足袋と蔵の町並みなど歴史的文化的資産が数多くあります。足袋蔵の町並みは、日本遺産に認定されています。

進修館高校は、平成17年に行田市内にあった行田進修館高校、行田工業高校、行田女子高校を一つに統合し、新たな学校として生まれ変わりました。今年、最も古い行田女子高校の創立から111年目になります。校名の「進修館」は、忍藩の藩校の名前に由来します。古くから地元の人々に支えられ、地域に根差した学校となっています。

校地は約8万平方メートルあり、東京ドーム約1.7個分に相当します。グラウンドや体育施設も2校分あり、恵まれた環境のもと、生徒たちは勉学や部活動等に励んでいます。



【学校全景】



【進修館高校の位置】

2 学校の特徴

（1）学科の構成

本校は、総合学科と工業科が併設されています。

総合学科は文科探究・理科探究・美術探究・商業探究・総合教養の5つの系列を有し、生徒は各々の進路に応じて、多彩な授業を選択します。

工業科は、電気システム科・情報メディア科・ものづくり科の3学科があり、「マイスター（職人の最上位者）」を目指す工業人を育成します。



【総合教養系列】



【美術探究系列】



【ものづくり科】

（２）部活動の活躍

充実した施設を活かし、部活動も盛んに行われています。陸上部は全国大会の常連であり、令和７年度も女子ハンマー投げでインターハイに出場、写真部も全国高等学校総合文化祭に出品・参加しています。

機械研究部は昨年度ホンダエコマイレッジチャレンジ全国大会で準優勝し、今年は優勝を狙います。

電子機械研究部は今年も全国高校生ロボットコンテスト埼玉県予選において優勝し、１５年連続の全国大会への出場が決定しています。

また、ダンス部は地域のイベントに多数参加しており、今年は１１月の全国大会に出場します。



【機械研究部】



【R7 インターハイ（陸上部）】

３「行田學」（総合的な探究の時間）

本校の「総合的な探究の時間」では地元行田の豊富なコンテンツを活かした「行田學」を展開しています。

地元行田の「歴史・文化・食・産業」等にかかる講師の方をお招きし、自ら課題を見つけ、解決方法を考え、プレゼンテーションを行います。



【「行田學」発表会①】



【「行田學」発表会②】

地域や学校への愛着を深めるとともに、探究学習の手法を学び、主体的な学習を促しています。

４ ＰＴＡ・後援会年間活動について

（１）年間の活動

年間を通しての主な活動は以下のとおりです。

５月 ＰＴＡ・後援会総会

６月 体育祭 登校指導

９月 登校指導

１０月 華蓮祭（ＰＴＡ バザー）

１０月 ＡＥＤ講習会

２月 進路講演会

その他 総務委員会、各高Ｐ連行事参加

ＰＴＡ新聞「進修館」発行



【ＰＴＡ総会の様子】

（２）本校ＰＴＡの構成

◎本部役員（会長・副会長・監査・理事）

◎各支部（支部長・副支部長）

◎各委員会（総務委員会・生徒指導委員会・広報委員会・研修委員会・厚生委員会）

５ 具体的な取組

（１）体育祭への協力

総務委員会を中心に体育祭の応援、受付等で体育祭に協力しています。こうした取組は、先生方の活動や生徒の活躍を知る良い機会です。



【体育祭受付】



【体育祭の様子】

体育祭は例年熊谷スポーツ文化公園で開催しますが、毎年約３００人ほどの保護者の応援があります。応援することで一体感が生まれ、子どもと親の距離が近づいたように感じました。

（２）登校指導

生徒指導委員会では子どもの安全指導のために活動しています。とくに登校指導では、保護者・先生方でチームとなり指導しています。



【登校指導①】



【登校指導②】

校門前の道は狭く、車の通行量も多いため、安全指導が欠かせません。

生徒が、きちんと挨拶してくれるのもとても嬉しく感じます。

（３）文化祭

地域の人々との交流も含めバザーを企画しています。以前は、「進修館どらやき」も販売していたこともあるようです。文化祭に子供たちと一緒に参加できるのは、得難い経験だと思います。私たちも、高校生の気持ちに戻って充実した時間を過ごすことができました。



【ＰＴＡバザー①】



【ＰＴＡバザー②】

行事では活動に協力する親の姿を子どもに見せることも必要ではないかと思います。学校・家庭・地域が三位一体になり子どもたちの成長を支援していきたいと考えています。

（４）心肺蘇生法・ＡＥＤ教室

毎年、１０月に厚生委員会で、ＡＥＤ教室を実施しています。本校の西格技場で、行田消防署職員の方をお招きし、心肺蘇生法・ＡＥＤ使用法について、指導してもらいます。

実際にＡＥＤを使用してみると、手順にまごつくこともあり、こうした研修は、とても意義のあることと思います。



【ＡＥＤ教室①】



【ＡＥＤ教室②】

５ 進路講演会

研修委員会が企画運営する進路学習に関する講演会です。

本校は、総合学科と工業科の併設校なので、多様な進路選択が行われます。生徒だけでなく、保護者もキャリアについて考える機会が必要です。

講演会では、最新の社会の動向や、大学等や企業の実情も知ることができ、子どもと将来のことを一緒に考える契機となっています。



【進路講演会①】



【進路講演会②】

６ 全国高Ｐ連、県高Ｐ連、市Ｐ連活動等

全国・県・行田市のＰＴＡ連合会活動といった対外的な活動や、さまざまな機会での交流も大切にしています。インフォーマルな交流を通じて役員相互の視野を広めるとともに、ネットワークを構築しＰＴＡ活動の充実につなげられればと考えています。

７ 終わりに

本校は、各自の興味・関心や進路希望に応じた、多様な学びを実現できる学校です。

将来の職業選択を視野に入れ、多様な教育活動の中で、子どもたちは夢や可能性に向かって日々努力しています。そうした中で、探究学習として「行田學」を推進し、令和７年度から、コミュニティスクールとして、より地域と密着した教育活動を展開しています。

進修館高校は、忍藩校の流れを継ぐ歴史ある高校です。そして、行田進修館高校・行田工業高校・行田女子高校の３校の関係者の想いをのせた学校でもあります。その想いを胸に、本校ＰＴＡは、これからも皆様の御協力をいただき、進修館高等学校の教育活動に貢献していきたいと考えています。



【マスコットキャラクターれん】